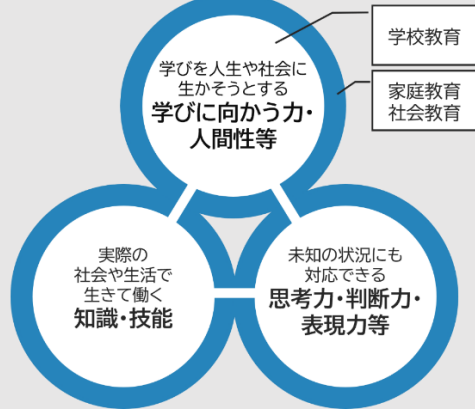


総合的な学力の育成

総合的な学力

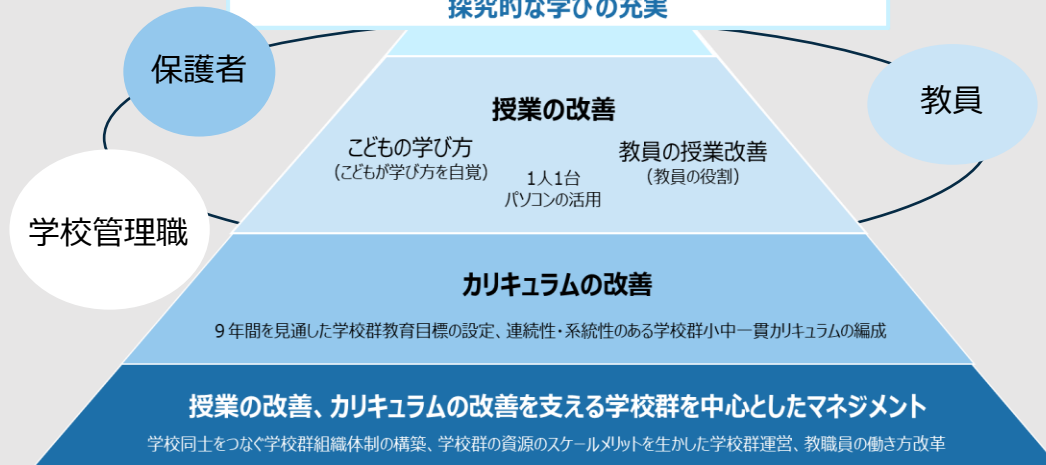


本市では、「総合的な学力」を、「学習指導要領で示された3つの資質・能力を家庭教育や社会教育の場において、様々な主体と協働・連携しながら実生活と結び付けて発揮するもの」と定義している。

総合的な学力の育成

学ぶことを楽しみ、自ら学ぶことも

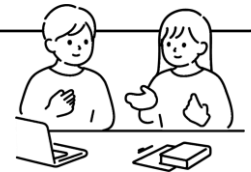
個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実
探究的な学びの充実



第2回総合教育会議における報告内容

全国学力・学習状況調査からみえる本市の課題

- 複数の資料を関連づけて考える問題の**正答率の低さ**
- 記述式の問題の**無解答率の高さ**
- 授業の**理解度と正答率の乖離**
- 授業時間以外に、普段、一日当たり**全く勉強しないと回答した割合の多さ**



総合的な学力向上に向けた方向性

- 学びのコンパスに基づく授業改善の加速
 - 学びの定着（補充学習の機会・家庭学習の充実）
 - 学校力向上に向けた支援（組織体制・人材育成・研究機能）
- ※上記の項目について学校群を活用して取り組む

総合的な学力向上パッケージプラン

令和8年度当初予算額案 39,382千円 (内 新規分 13,618千円 ・ 拡充分 449千円)

方向性	取組	対象	取組によってめざす姿
学びの定着	【新規】学習動画コンテンツを活用した学習支援のモデル実施	こども 保護者・こども	こどもが主体的に学習に取り組み、習熟度に応じた学びを深めている
	【新規】家庭学習のてびきの作成		こどもや保護者が家庭学習の意義を理解し、こどもが授業とのつながりを意識して家庭学習に取り組んでいる
学校力向上	【新規】学力向上アドバイザーの派遣	校長	校長が学校の実態に応じた学力向上の取組を組織的に実施している
授業改善の加速	【拡充】学び深化プロジェクトの実施	教員	教員がデータを踏まえた調査研究や主体的な研修に取り組んでいる
	【拡充】学びのインフルエンサーの派遣		教員が「学びのコンパス」に基づく授業改善に継続的に取り組んでいる
	【拡充】授業改善に資する研修の実施		

<各取組の基盤> こどもの学力の変容把握と教育活動の点検・評価

【継続】IRTによる堺市学力・学習状況調査の活用

【新規】学習動画コンテンツを活用した学習支援のモデル実施

【目的】

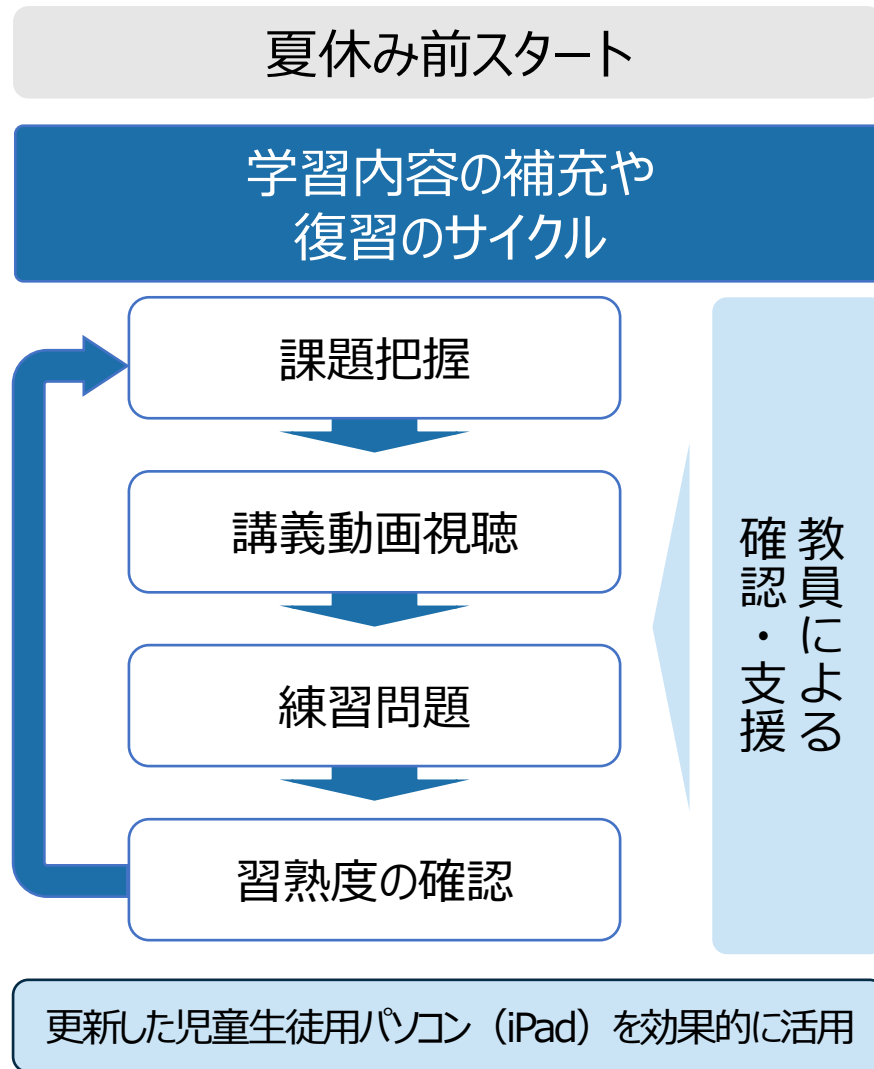
- 個々のこどもの状況に応じた学習内容の補充や復習を支援
- 基礎的・基本的な学力の定着と家庭学習等の充実

【内容（令和8年度は中学校7校でモデル実施）】

- 講義動画（オンデマンド）の視聴
 - 講義動画の視聴を通して学習内容を理解
- 練習問題の実施
 - 学習内容についての理解の確認
- 習熟度の確認
 - 習熟度を確認するチェックテストなどで個々の課題を把握

【効果検証】

- 期初・中間・期末の評価テストで学力の伸長を測定



【新規】家庭学習のてびきの作成

【目的】

- 家庭学習の習慣形成と意義の浸透
- こどもの自主性の伸長と学習内容の定着

【内容】

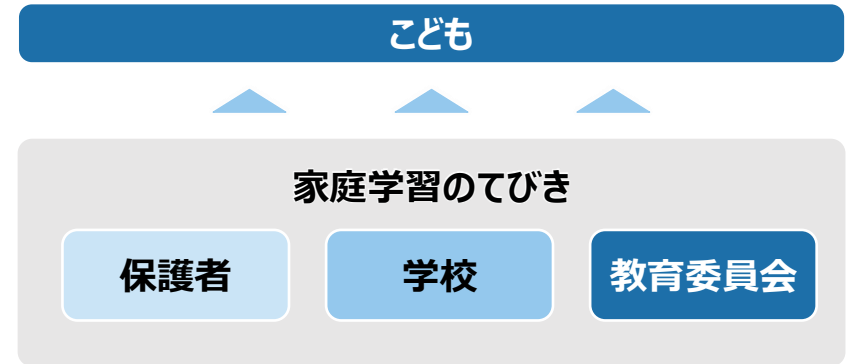
- 以下のポイントを「てびき」に示し、こどもや保護者と共有
 - 授業で学んだことの定着
 - 家庭学習の習慣化
 - 児童生徒用パソコン（iPad）の活用等
- ※堺市PTA協議会、校長会と連携して作成

【効果検証】

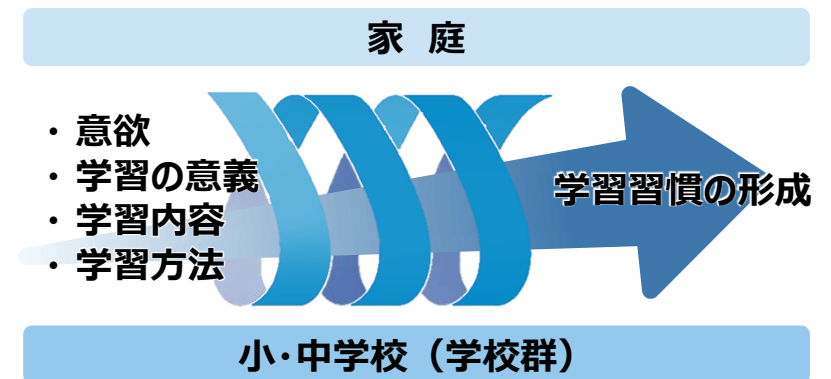
- こども・保護者アンケート等（各学期末）
 - 家庭学習時間の変化を測定
 - 家庭学習の意義に関する意識の変容を測定

夏休み前スタート

- 三者の連携による「てびき」の作成



- 学校と家庭の相互作用のイメージ



※こども・保護者へアンケート等を行い、適宜内容を改善

【新規】学力向上アドバイザーの派遣

【目的】

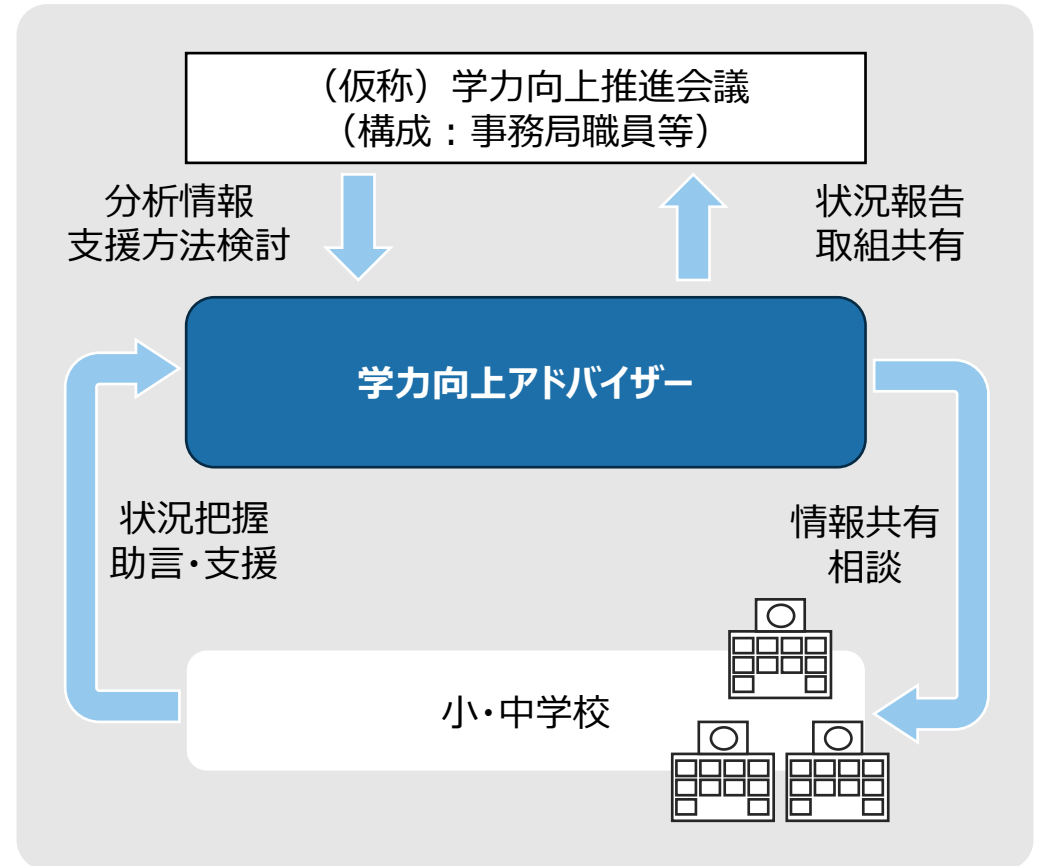
- 学校の実態に応じた学力向上のための取組の充実
- 校長のマネジメントの支援

【内容】

- 学力向上アドバイザー（元校長）が定期的に学校を訪問
- 各種調査データを検証・分析し、学力向上の取組を助言・支援
- （仮称）学力向上推進会議で支援方法や学校群での学力向上について検討

【効果検証】

- 管理職アンケート・ヒアリング（各学期）
 - 各校の学力向上の取組の成果を確認



学力向上アドバイザーの支援の流れ

- 1学期：各種調査のデータ、学校訪問に基づく状況の把握
 - 2学期：（仮称）学力向上推進会議に基づき抽出した学校を中心に支援
 - 3学期：各校の取組の評価、今後の方向性の示唆
- ※必要に応じて追加の支援を実施

【目的】

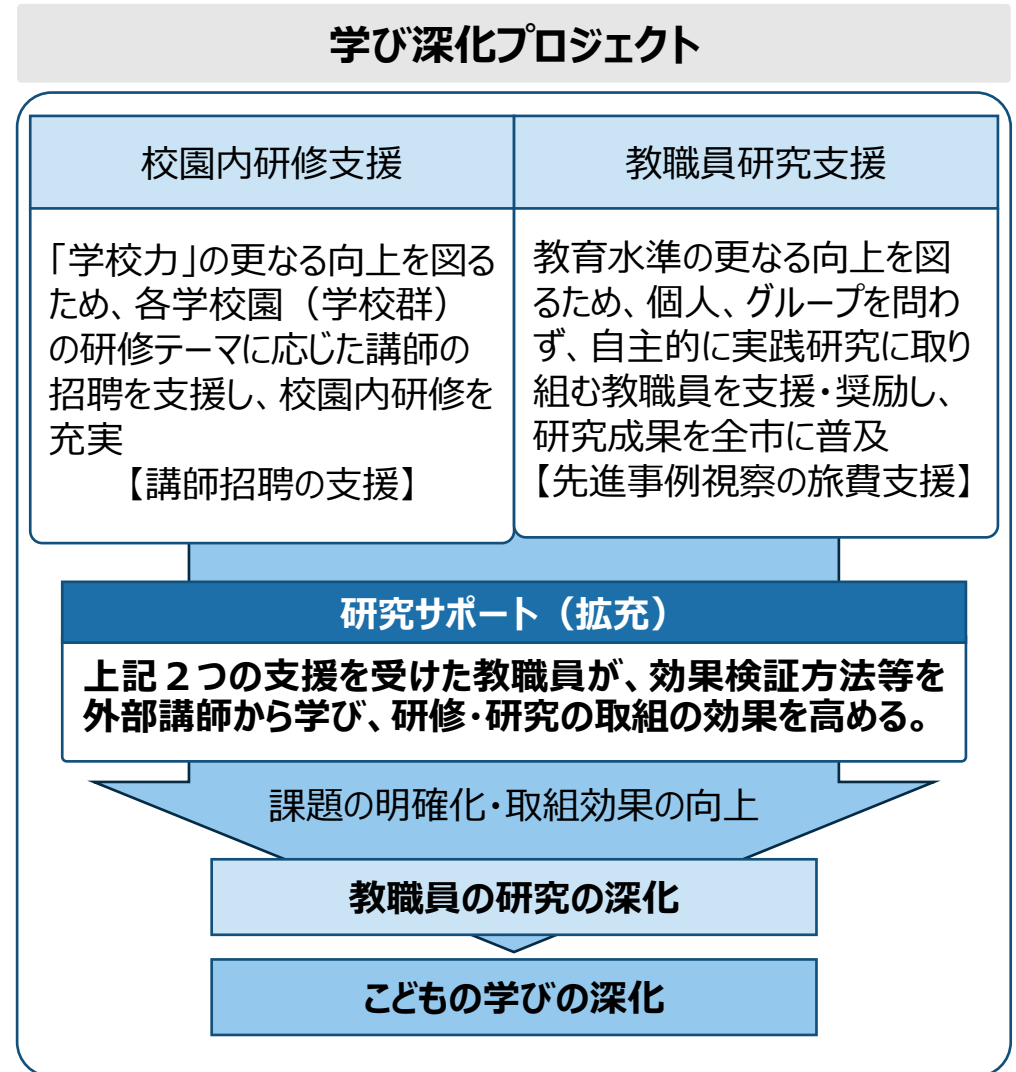
- 教職員の主体的な研修・研究の推進
- こどもの深い学びにつなげる教職員の研究力の向上

【内容】

- 校園内研修への講師招聘支援
- 先進事例視察にかかる旅費支援
- 学校の教育活動への効果的な還元を図るため、外部講師から実践研究の効果検証方法等を学ぶ機会を設定

【効果検証】

- 研究計画（年度当初）や報告書（年度末）の成果指標等を定性・定量的に評価



【目的】

- 「学びのコンパス」に基づく授業改善の加速

【内容】

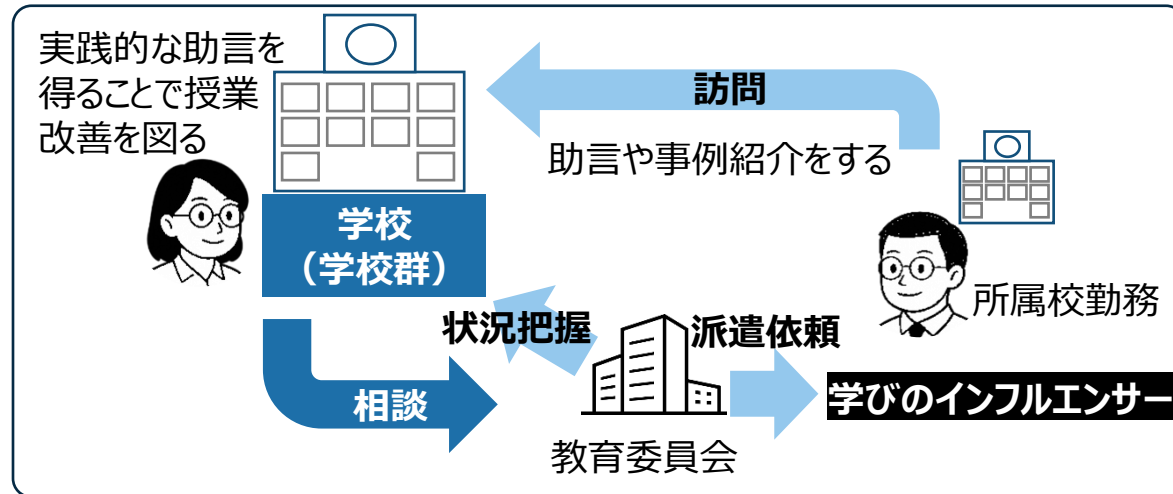
- 各校に実践的助言を行う学びのインフルエンサーを増員し、学校への派遣を充実
- 学びのインフルエンサーは授業改善につながる資料を作成し、全市学校園に発信

【効果検証】

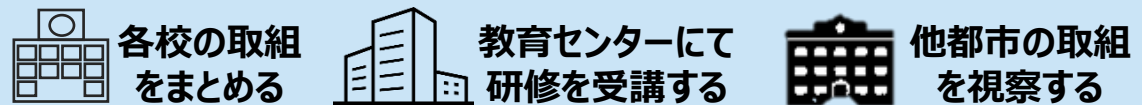
- 派遣後の教職員・管理職ヒアリング（随時）
・各学校の授業改善の状況を確認

【学びのインフルエンサーの業務】

授業改善の伴走支援



授業改善のための資料作成・発信



学びのインフルエンサーは、授業改善につながる資料を作成し、教育用情報プラットフォームにて全市学校園に発信する。教員は、事例等をもとに授業改善を図る。

【拡充】授業改善に資する研修の実施

【目的】

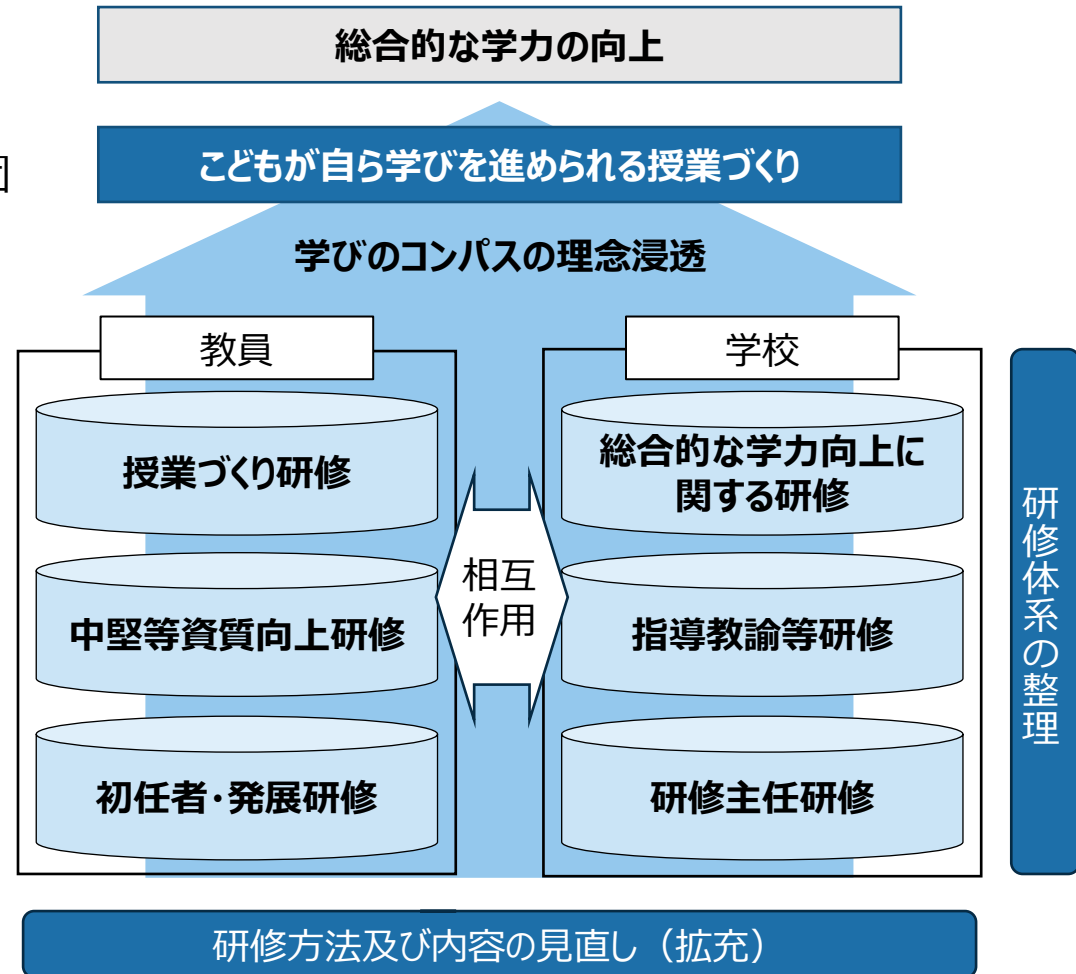
- 教員の授業力向上
- 「学びのコンパス」に基づいた授業改善の加速
- 校内（学校群内）における学び続ける教職員集団の形成

【内容】

- 経験年数や役割に応じて、授業改善に資する研修を体系的に実施
- 教員自らが課題を設定し、対話を繰り返しながら解決策を見いだす探究型研修などを充実

【効果検証】

- 各研修受講後のアンケートや研修レポートによる定性・定量的な評価



【目的】

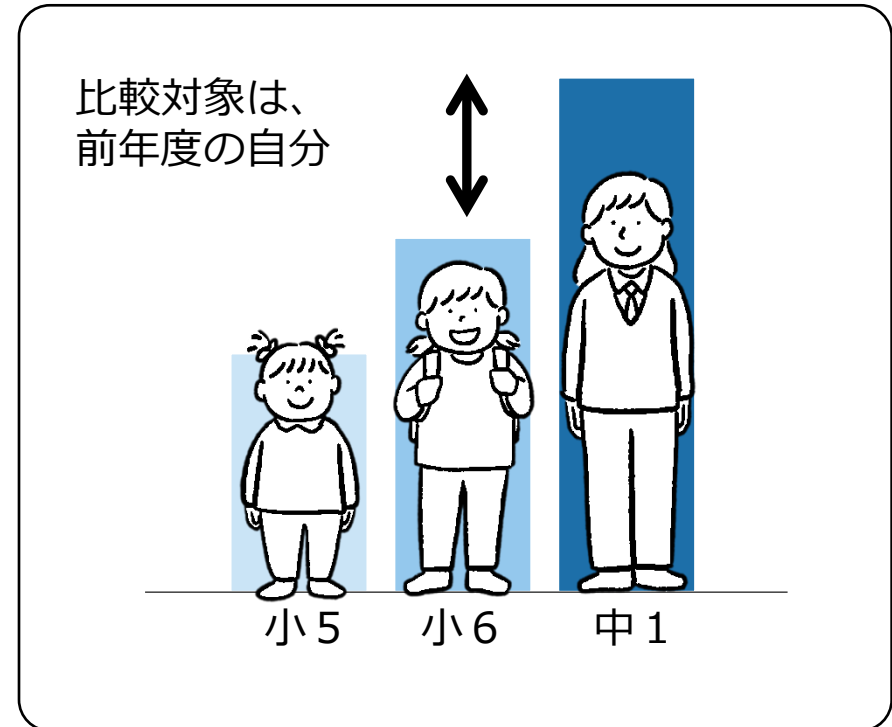
- 子どもによる学習状況の把握と、改善に向けた意欲の向上
- 学校が調査結果を活用し、個々の子どもの学力の変容を把握
- 教育委員会及び学校が、教育施策及び自らの教育の成果と課題の把握・検証

【内容】

- 項目反応理論（Item Response Theory: IRT）に基づいた調査を経年で実施し、個々の子どもの学力の変容を把握
- 子どもの学力の変容を把握し、個に応じた指導を充実

【効果検証】

- 調査結果の活用に関する報告書等（10月以降）
 - 教育実践の改善や子どもの学習状況を確認



- 対象
小学校第4学年～中学校第2学年
- 調査教科等
国語・算数・数学・質問調査

